



海と川、命の道をつなぐために！

キソンペタン川 魚道清掃

5月10日、キソンペタン川治山ダムにて「八雲町内水面自然保護協会」会員20人が魚道清掃を行いました。魚道は、産卵で海と川を行き来する魚や、川に根付く魚が、分断された川を渡る命の道です。協会では昭和60年頃から八雲地域の魚道清掃を行っています。魚道に溜まる石や葉、流木をスコップなどを利用して清掃を実施。参加者は「昔、多くの魚が魚道に入れず清掃するのを待っていたのを見て感動した。可愛い魚たちのために魚道清掃を続けている」と清掃の必要性について訴えました。



医療の現場を体験！
看護の心を学ぶ！

看護の日・看護週間 八高生「看護1日体験」

5月12日、八雲総合病院で八雲高校の2年生14名が1日看護師として看護現場を体験。八雲総合病院が看護の日にちなみ、患者さんとのふれあいを通し、看護の喜び・心を学び、後の進路の参考のため開催したものです。生徒たちは、各専門病棟に分かれ説明を受け、病室で患者とのコミュニケーションや新生児人形での沐浴など体験しました。生徒は「体験して大変さと喜びも感じる事が出来た」と目を輝かせました。



いのちを守る大事な訓練！

相沼小学校、 地震・津波避難訓練

4月20日、相沼小学校（児童21人）で、日本海南海沖地震を想定した地震・津波の避難訓練が行われ、全校児童や教員、保護者など約40人が参加しました。津波の発生を知らせる校内放送が流れると皆一斉に約400m離れた高台の避難場所を目指しました。児童たちは先生達との約束である「『お』さない『か』けない『し』ゃべらない『も』どらない」をしっかり守り、真剣に避難訓練に取り組んでいました。訓練に参加した6年生の能登谷夢月さんは「いつ地震が起こるかわからないので、この避難訓練で習ったことを生かしたい」と話していました。



演奏を聴いて、学んで、楽しんで！

コンサートinくまいし

5月16日、熊石第一中学校と熊石高校及び渡島檜山管内の吹奏楽部の主催による合同コンサート「コンサートinくまいし」がふれあい交流センターくまいし館で行われ、会場に訪れた約140人の聴衆が素敵な音色に聴き入っていました。函館市で第一線で活躍する演奏家の方々を招き、吹奏楽部の生徒達や地域の方々にも生の音楽に触れてもらおうと企画されたもので、アルマ・スリフトさんのバイオリンの独奏を皮切りに、フルート、バイオリン、ピアノによるドキュメンタリー番組「情熱大陸」のテーマなど、バラエティーに富んだ演奏が披露されました。普段なかなか聴くことの出来ないメンバーによる演奏とあって、会場の生徒らは熱心に聴き入っていました。

